

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療推進支援室だより

# ひまわり



第22号 令和元年6月  
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター  
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)  
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

## 平成31年度第1回 薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会



平成31年4月16日に薩摩郡医師会病院会議室に於いて委員26名の出席のもと開催されました。報告事項では、「川薩地域入退院調整ルールについて」キックオフミーティングの開催内容について川薩保健所有元係長よりご報告頂きました。また、松下委員長より今年度「多職種連携による口腔ケア体制整備事業」をクオラリハビリテーション病院が実施する事となった事のご報告と退院カンファレンスへの協力依頼がありました。また、宮之城地区栄養士会の川畑管理栄養士より「在宅訪問栄養指導」の開始についてご紹介がありました。委員の皆様からの質疑により記載用紙やFAX用紙の見直しを行う為、開始までにはもう少し準備が必要との事でした。協議事項では、平成31年度の推進体制や活動計画について話し合っていました。さつまるネット研修会、住民向け研修会、在宅医療連携シートと緊急時医療連携シートと緊急連絡票をどう進めていくか、医療・介護・福祉の連携の推進等について今後継続して話し合っていく事となりました。

## 平成31年度第1回さつまるネット研修会 第1回「多職種連携による口腔ケア体制整備」研修会



くるリーナブラシ



令和元年5月24日クオラリハビリテーション病院クオラホールに於いて「安全に食べ続ける可能性を求め続けて～普段の暮らしのなかで取り組む口腔ケア～」のテーマで茅ヶ崎市 村田歯科医院院長の黒岩恭子先生のご講演がありました。黒岩先生は歯科衛生士から一念発起され昭和45年に歯科医師となられ、昭和50年に現在の村田歯科医院を開業されました。日常診療を行うかたわら、平日夜間と土・日・祝日の多くを高齢で通院の難しかった患者への往診や障害児(者)施設・病院・介護施設への訪問にあてられています。自身で考案された口腔粘膜清掃専用ブラシ「くるリーナブラシ」を使用しての口腔ケアで「食べられる口」を作ってこられた事例を多数紹介して頂きました。とても興味深く次回も参加したいと思える素晴らしい内容でした。125名の多職種の方が参加されました。

## 平成30年度第7回さつまるネット研修会



平成31年3月27日薩摩郡医師会病院会議室に於いて第7回さつまるネット研修会を開催致しましたところ34名のご参加を頂きました。第1部は「共生型サービスを理解し連携しよう」のテーマで指定特定相談支援事業所つらなりの内田秀三氏にご講演頂きました。共生型サービスの見直しにより、「なじみのある事業所が共生型サービスになることで、65歳以降も引き続き通所サービスを受けることができる」と説明されました。現在、さつま町内では、「つらなり」が共生型サービスの届出をされているそうです。第2部では「多様な問題を有する家族を地域で気づき、専門機関につなぎ、支援する仕組みづくり」をテーマに事例検討会を行いました。さつま町地域包括支援センター長の橋ノ口賢二氏に事例紹介頂き、グループワークの進行を鹿児島県介護支援専門員協議会川薩支部 理事の古城裕喜氏にして頂きました。様々な問題を抱えた事例でしたので、意見交換の時間が足りなかったとのご意見を頂くほど皆様熱心に意見交換して頂きました。ご参加頂きました皆様有難うございました。

## 第45回薩摩郡三師会 ～緊急時医療連携シートのご紹介～



令和元年5月17日に薩摩郡三師会が開催されました。薩摩郡歯科医師会の福岡宏士先生による「要介護高齢者の口腔ケア」のご講演があり、インプラント挿入患者さまのトラブルのご紹介や施設における訪問歯科診療の事例についてお話されました。ご講演の後、「緊急時医療連携シートについて」お話する機会を頂きました。「在宅医療連携シート」の活用状況や新たに「緊急時医療連携シート」を在宅医療推進作業部会で検討中であることをご紹介致しました。住民主導で取り組まれている「緊急連絡票」を含め65歳以上の方全員にいずれかのシートが冷蔵庫に保管されているようにすることを今年度の目標にしていこうとお伝えし、ご協力をお願い致しました。三師会の先生方22名の方がご参加されました。説明の機会を頂き有難うございました。

## 病院訪問 溝辺町:佐藤医院



平成31年4月5日溝辺町の佐藤医院を訪問させて頂きました。旧薩摩町の永野地区や中津川地区の住民の方で通院または訪問診療を受けている方がいらっしゃるの情報を頂き、訪問させて頂きました。佐藤院長先生にご面会し、当センターのご紹介や住民の方の情報を頂いたりすることができました。佐藤先生は始良地区医師会会長でもあり霧島市立医師会医療センターへの救急搬送の受入についても協力して頂いています。さつま町からの入院の方や外来通院の方について看護師さんから「いつでも情報提供します」と言って頂きました。お忙しい中、ご協力有難うございました。

## 平成31年度第1回川薩地区 在宅医療推進連絡協議会



令和元年5月15日川内看護専門学校に於いて平成31年度第1回川薩地区在宅医療推進連絡協議会が委員25名のご出席により開催されました。平成30年度の活動報告の後、平成31年度の活動計画と在宅医療提供状況調査について協議して頂きました。その中で、クオラリハビリテーション病院が鹿児島県の補助事業として「多職種連携による口腔ケア体制整備事業」に取り組むことになったことをご紹介されました。在宅歯科支援室の活動報告や川薩地域入退院調整ルールの今後の予定についてもご紹介頂きました。

## 病院連携室訪問 (5/30)



令和元年5月30日鹿児島市内4医療機関(天陽会中央病院・いづろ今村病院・今村総合病院・米盛病院)の地域医療連携室を川内市医師会在宅医療支援センターのコーディネーターお二人と訪問させて頂きました。どちらの病院も退院支援担当者を10数名置かれていました。それぞれの病院の特性などもお話して頂きました。両センターを川薩地域住民の方の退院支援の相談窓口の一つとして今後活用して頂くようお話ししました。皆様お忙しい中丁寧に対応して頂きました。有難うございました。

## 《今後の予定》

令和元年6月18日 平成31年度第2回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会  
令和元年7月 さつまるネット研修会  
(日程が決まり次第お知らせ致します)  
《センターより》  
暑さ本番になります。皆様、熱中症対策してくださいね。

